

第 13 号

平成27年10月1日発行
〔「はまゆう」より通算45号〕

てん 真

【発行者】 社会福祉法人 天真会 妙徳寺住職 淳 英徳
〒811-0201 福岡市東区三苦2丁目28番41号

社会福祉法人 天真会

- 養護老人ホーム 博多老人ホーム
電話(092)606-2380
- 軽費老人ホーム 長雲荘
電話(092)607-7231
- デイサービスセンター 微笑園
電話(092)605-6512



9月15日 敬老式典

高齢者の虐待について、最近川崎のある老人ホームの実態が報道された。これが氷山の一角でなければよいが、と懸念している人も多いと思う。依然として増加傾向を見せており、児童への虐待や学校でのいじめも含めて、共通しているのは、これらの事案の被害者は、いずれも周囲に助けを求める言葉を持たないか、仕返しをおそれて沈黙をせざるを得ない、社会的に弱い立場におかれている人々であるということである。

いじめや虐待は、元来人目につかないところで行われることが多く、さらに最近では携帯電話やメールの利用で、より実態を把握することが困難になっている、と指摘する識者もいる。しかし、こうした消極的な意識や関わり方では、こうした問題を解決することはとうてい不可能であろう。もっと積極的に実態の把握に努め、より速やかに問題を解決することこそ焦眉の急務である。そうした課題の解決に大きな成果を上げている病院が、9月7日、NNK北九州放送局のニュースで紹介された。北九州市立八幡病院である。

八幡病院では、たとえ整形外科や耳鼻科の患者であっても、訪れたことを最初に診察するのは、虐待についての知識がある小児科医で、医師はケガや病気の背景にある子育ての問題や家庭環境を確認し、虐待が疑われるケースについては、小児科医全体の症例検討会で検討し、さらに精査する。また、病院全体で情報を共有して、医師だけでなく看護師や受付などの病院スタッフ全員に、日頃から親子の様子を注意深く見るように指導している。院長は語っている。

道元禪師は、仏道修行を志す者の心構えとして、「こちらからあちらを見、さらにはあちらからこちらを見る」というように、「丁寧に丁寧に修行を積み重ねていくことの大切さ」を説かれていますが、「典座教訓」、このことは修行ばかりでなく、私たちが仕事を取り組む上でも忘れてならない大切な心構えだと思う。もの言わぬ子供や高齢者の、些細な行動や表情の変化をよみとり、心の声をしっかりと受け止めて、その心に寄り添う適切な行動ができるこそ、私たちは職務を全うする事ができる。



「見極めるということ」

統括施設長 永野 教任

軽費老人ホーム 長雲荘での生活風景

～宮地獄神社へドライブ～



お天気にも恵まれ、楽しいドライブになりました。参拝の後に松ヶ枝餅を頂きました。

運動会



紅白に分かれての真剣勝負。いい汗をかきました。

防火避難訓練



万が一に備えての防火避難訓練を行いました。

東ブロック交歓大会～カズーの演奏～



アフリカの民族楽器「カズー」を演奏しました。熱心に取り組み、たくさんの方々が拍手をいただきました。

陶芸教室



一麦金(いちばくがま)の長谷川先生にご指導頂き、ハリセンボンの土鈴が出来上りました。

絵手紙教室



梅本先生にご指導頂き、画仙紙に筆ペン・絵の具を使用して暑中お見舞いを作成しました。

養護老人ホーム 博多老人ホームの生活風景

花祭り



みんなで花御堂をつくり、お釈迦様のお誕生日をお祝いしました。

野球観戦



節句行事



輪投げ大会の上位高得点の皆様。おめでとうございます。軽やかな輪投げポーズ。お見事ですね。



ソフトバンクの試合を間近で観戦し、大感激しました。

運動会



6月11日運動会を行いました。ラジオ体操で身体をならした後、風船バレーやボール送りなど競技する方も応援の方も大いに盛り上がり、楽しい一日を過ごしました。

支援員の業務



午前午後必ずお変わりがないかどうかの確認にその日の担当支援員が居室を訪問します。掃除や食事の配膳準備などを行い、夕方各棟の報告を行い情報を共有します。

博多老人ホーム 長雲荘 合同行事

長寿祈願・敬老式典



おめでとうございます。

長寿祈願後、右の方々が福岡市より表彰されました。いつまでもお元気でお健やかにお過ごしください。

- ・百壽（100歳） 川村タケコ様（博多老人ホーム）
- ・米寿（88歳） 博多老人ホーム 4名、長雲荘 4名
- ・喜寿（77歳） 博多老人ホーム 5名、長雲荘 3名

百歳万歳



川村タケコ様（大正4年5月5日生まれ）

▲5月の誕生会で
◆敬老式典で表彰されました。

長生きの秘訣をお聞きしました。

小さなことにくよくよしないで、あのようにしていることです。そうすると自分の心も明るくなりますし、周りもうまくいくと思います。

七夕会



今年は合同で七夕会を行いました。オリーブ保育園の園児さんもきて下さり、とても賑やかに、楽しく飾り付けができました。みんなの願いが叶いますように！

夏祭り



8月28日（金）夏祭りを行いました。かき氷やたこ焼き、お好み焼きの屋台や風船つり、的当てなどのゲームに皆さん童心に戻って楽しめました。

また日向ひよっこ踊り三苦愛好会様や玄海相撲甚句会様の演芸、長雲荘の皆様のカズー演奏、今林勲志泰先生ご指導の「白山音頭」「炭坑節」を皆さんで踊り、最後に福引きもありとても楽しいひとときを過ごしました。

消火器活動訓練



4月23日に消火器講習会を行いました。あってはならないことですが万が一に備えて新任職員は実際に消火器の操作を行い、他職員は操作方法の確認を行いました。

職員研修（感染症予防研修）



6月26日和白病院健康運動指導士、山本聖先生を講師にお招きして感染予防の研修を行いました。「免疫力を高める運動と食事」題して、専門的な立場から予防についてのお話で職員にとって大変貴重な時間となりました。今後の業務に役立てていきたいと思います。ありがとうございました。

年間行事予定 (平成27年10月~28年3月)



10月

11月

12月

1月

2月

3月

・定期健康診断

・ふくふくプラザ
作品展
・屋外レク

・ちゃんこ鍋
・忘年会
・やきいも会

・元旦祭
・どんど焼き
・新年会

・節分
・ひなまつり
・春季彼岸会

(博多老人ホーム) その他毎月：志式神社清掃参拝・誕生会・買い物デー・ホーム会があります。
(長雲荘) その他毎月：誕生会・買い物デー・かわら版すこやかさん配布があります。

微笑園

夏の思い出



わた菓子作りはむずかしいね



生活の『困った』を訪問介護微笑園が解決！

病院受診したいけど
買物に行きたいけど
衣替えしたいけど
大掃除したいけど



こんな時ちょっとご相談下さい
ヘルパーがお手伝いします
30分 1,000円～



微笑園へのお問い合わせ・お申込みはこちらまで



デイサービスセンター 092-605-6512
(ご見学・体験利用もご相談ください。)

訪問介護 092-605-6512
ケアプランセンター 092-605-6521



平成27年度

九社連老人福祉施設協議会 職員研究大会 鹿児島大会

奨励賞受賞

第7部会 養護老人ホームの実践と課題

「変容・拡充する配食サービス事業」 ～21年間のふれあいランチから、今サロン弁当へ～

去る平成27年7月23日(木)、24日(金)の2日間、鹿児島県鹿児島市において、平成27年度 九社連老人福祉施設協議会職員研究大会(鹿児島大会)が開催されました。

大会2日目の研究部会においては、各県・市内施設及び事業所からの研究発表があり、今年度から審査員による審査が行われました。

博多老人ホームからは「変容・拡充する配食サービス事業」として21年間続いている地域貢献事業について発表を行い、奨励賞を頂きました。

地域と時の要請に応えて21年 変容・拡充する配食サービス

社会福祉法人 天真会
博多老人ホーム

発表者 主任生活相談員 竹ノ上 恵美
資料作成 天真会調理部主事 楠原 由美江



職員紹介

平成27年7月21日付け	新規採用	道脇まゆみ(博多老人ホーム事務職員)
平成27年6月22日付け		野中美代子(博多老人ホーム調理員)
平成27年3月1日付け		杉谷なつき(長雲荘看護師)
		皆様のお役にたてる様頑張ります。
		よろしくお願いします。

平成27年3月1日付け
新規採用

【略歴】

昭和54年5月に軽費老人ホーム長雲荘に寮母として就職し、10年6か月勤務。その後博多老人ホーム相談員として採用され、通算で16年10か月勤務しています。

【取り組み内容】

長雲荘では平成16年4月から「脳の活性化と身体機能の維持向上」を目的として、これまで長雲荘で取り組んできたクラブ活動の見直しを行い、誰もが参加、継続しやすい状況で行えるよう「歌おう会」「音読会」「簡単な計算をする会」などを始めました。また並行して掲示板を利用した「ほっと一息コーナー」を作り、「今日は何の日」「クイズやゲーム」など、読みやすく興味を持っていただける内容のものを工夫して張り出しました。また、認知症予防の研究大会に出席したり、書物などで知識や理解を深め、誰もが親しみ易く長続きできるいろいろな活動を展開してきました。

博多老人ホームでは平成25年7月に「認知症予防と認知症の方への対応について」という題で福岡市老人福祉施設協議会主催の研究発表会で発表しました。現在は認知症予防学会の取り組みを参考にして認知症予防のために必要なことを入居者の皆様に継続してお伝えしたり、認知症の方への対応の仕方などを職員と共に学んでいます。

【お礼の言葉】

今回、このような賞をいただけるとは思っておりませんでしたが、これも永野施設長はじめこれまで一緒に活動に取り組んできた職員の皆様のおかげと大変感謝しております。今後も入居者の皆様のお役に立てるように努めていきたいと思います。ありがとうございました。

(主任生活相談員 大林文子)

地域貢献事業特集

介護でお困りのことはありませんか? 出張介護相談窓口

8月19日、9:30~15:00 和白郵便局イベントスペースにおいて「介護相談窓口」を開催しました。地域住民の皆様との交流を大切にし、地域に貢献していく取り組みとして、介護や高齢者の日常の生活面に関することなどの相談を受けました。



高齢者やご家族が住み慣れた地域において安心して生活していただくための地域の身近な相談窓口として、今後も継続して活動していきます。電話でも受け付けています。どうぞお気軽にご相談ください。

相談窓口 ☎607-7231 担当:武村

ふれあいランチ *サロン弁当*

地域で暮らす高齢者の皆様や地域の福祉活動に携わる皆様をさまざまな面から総合的に支えるための活動として、

◎地域で孤立しがちな高齢者に配食サービスを実施しています。

◎高齢者だけでなく、地域福祉活動推進団体等にもサロン弁当を提供しています。

「ふれあいランチ」を届けて21年。



地域の新たな要請に応えて「サロン弁当」



5月31日、風水害や地震・津波災害を想定した「福岡県・福岡市合同総合防災訓練」が福岡市東区奈多で行われました。訓練には、地域の皆さんも参加、初期消火訓練、水陸両用による避難訓練、要援護者の避難誘導訓練や愛護動物の同行避難訓練を実施し、災害時の対応を確認しました。統括訓練本部長である小川(福岡県知事)は、「災害はとき・ところ・人を選びません。日頃の備えが大事です。今日の訓練の成果をしっかりと検証し、今後の防災対策のより一層の実効性の向上につなげていきたい」と述べられていました。万が一の時に発揮できるよう今後の訓練に臨みたいと思います。

社会福祉法人 天真会 平成26年度財務諸表

貸借対照表

平成27年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		
科目	当年度末	前年度末
流動資産	188,604,007	205,705,365
固定資産	694,818,132	694,591,504
資産の部合計	883,422,139	900,296,869
負債の部		
科目	当年度末	前年度末
流動負債	27,634,810	60,787,936
固定負債	45,750,000	51,750,000
負債の部合計	73,384,810	112,537,936
純資産の部		
科目	当年度末	前年度末
基本金	281,582,280	281,582,280
国庫補助金等特別積立金	183,587,635	202,133,290
その他の積立金	153,120,000	116,120,000
次期繰越活動増減差額	191,747,414	187,923,363
純資産の部合計	810,037,329	787,758,933
負債及び純資産の部合計	883,422,139	900,296,869

資金収支計算書

(自)平成26年4月1日 (至)平成27年3月31日

(単位:円)

勘定科目	予算額	決算額
事業活動による収支	事業活動収入計	459,680,659
	事業活動支出計	411,604,659
	事業活動資金収支差額	48,076,000
施設整備等による収支	施設整備等収入計	0
	施設整備等支出計	4,805,000
	施設整備等資金収支差額	△ 4,805,000
その他の活動による収支	その他の活動収入計	32,800,000
	その他の活動支出計	69,800,000
	その他の活動資金収支差額	△ 37,000,000
当期資金収支差額合計	6,271,000	19,051,768
前期末支払資金残高	144,917,429	144,917,429
当期末支払資金残高	151,188,429	163,969,197

事業活動計算書

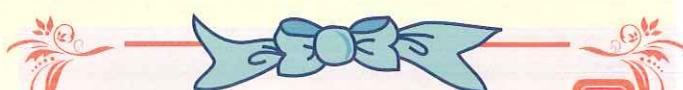
(自)平成26年4月1日 (至)平成27年3月31日

(単位:円)

勘定科目	当年度決算	前年度決算
サービス活動増減の部	サービス活動収益計	460,761,460
	サービス活動費用計	419,780,465
	サービス活動増減差額	40,980,995
サービス活動外増減の部	サービス活動外収益計	2,112,265
	サービス活動外費用計	2,269,208
	サービス活動外増減差額	△ 156,943
経常増減差額	40,824,052	40,648,242
特別増減の部	特別収益計	0
	特別費用計	1
	特別増減差額	△ 1
当期活動増減差額	40,824,051	40,845,241
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額	187,923,363
	当期末繰越活動増減差額	228,747,414
	その他の積立金取崩額	29,300,000
	その他の積立金積立額	66,300,000
	次期繰越活動増減差額	191,747,414
前期繰越活動増減差額	156,578,122	197,423,363
当期末繰越活動増減差額	197,423,363	187,923,363
その他の積立金取崩額	48,620,000	58,120,000
その他の積立金積立額	58,120,000	48,620,000
次期繰越活動増減差額	187,923,363	228,747,414

温かいご支援・ご協力ありがとうございました

平成27年4月～平成27年9月



重藤バレエ様
若柳秀弥社中様
はまゆう会様
美恵秀ご一同様
フルーリー代表様
福岡ソフトバンク(株)様
福岡淡水株式会社様
順和保育園様
シルバー人材センター様
一般財団法人福岡県
星華婦人会様
曹洞宗市内寺院の皆様
(毎月)
・九州大学
・ヘアサロン大丸様
ボランティアサークル様
退職教員協会様
長雲荘
博多老人ホーム
苦情申し出と経過報告

苦情申し出と経過報告

● 苦情申し出 ● 経過報告

博多老人ホーム

- 車に乗り降りする時、高くて乗りにくい。
- ステップのついた車を購入し、乗り降りが安心してできるようになりました。
- 男性便器が水漏れしており、使いにくい。
- 修理を行い、使いやすくなりました。

長雲荘

- 食事・換気・体操を知らせる館内放送が多少時間にばらつきがある。
- 音響機器を整備し、時間通りに放送できるようになりました。

編集後記

広報紙「天真」13号をお届けします。

どうぞご高覧ください。

発行責任者

渕英徳・編集事務局一同



就職フェア(クローバープラザ)



8月21日、春日市のクローバープラザで行われた「就職フェア」に参加しました。博多老人ホーム、長雲荘、微笑園の3施設の職員がそれぞれアイデアを出し合い趣向を凝らしたポスターを作成し、一緒に働く仲間となるフェア参加者の方に施設の説明を行いました。

平成 27 年度 「天真」 平成 27 年 10 月号 号外

九社連老人福祉施設協議会 職員研究大会 鹿児島大会

博多老人ホーム 奨励賞受賞！

あなたは平成二十七年度九社連老人福祉施設協議会職員研究大会において、頭書の成績を収められました。これは日頃の努力の賜物であり、他の機関などもこうあります。今後、一層の活躍を期待するところです。今後、この栄誉を称えこれを賞します。

平成二十七年七月二十四日

九社連老人福祉施設協議会

長 鴻江主子

養護老人ホーム 博多老人ホーム
竹ノ上 恵美 様
賞 状

第7研究部会「養護老人ホームの実践と課題」

「変容・拡充する配食サービス事業」

21年間のふれあいランチから、今サロン弁当へ



研究大会1日目 開会式の様子

平成 27 年 7 月 23、24 日鹿児島県鹿児島市において、平成 27 年度 九社連社会福祉施設協議会職員大会（鹿児島大会）が開催されました。大会 2 日目に行われた、研究部会（第 1～9 部会）では、各テーマのもと、各部会 9 施設の発表が行われました。博多老人ホームでは第 7 研究部会「養護老人ホームの実践と課題」において福岡県代表として発表を行いました。



大会 2 日目 博多老人ホーム研究発表の様子

地域と時の要請に応えて21年 変容・拡充する配食サービス

社会福祉法人 天真会
博多老人ホーム

発表者 主任生活相談員 竹ノ上 恵美
資料作成 天真会調理部主任 植原 由美江

博多老人ホーム 発表テーマ

慈悲・慈愛の精神を貫いて 地域と共に歩んだ93年

社会福祉法人 天真会 博多老人ホーム紹介

1922年(大正11年)福岡市内の曹洞宗の寺院住職が身寄りのない高齢者の為に福岡養老院を開設した。慈悲と慈愛の精神を基本として今まで93年間運営されている。

地域環境は温暖な気候と豊かな自然に恵まれ、玄界灘でとれる新鮮な魚介類等食材も豊富である。

現在実施している地域貢献事業

1. 高齢者に関する介護相談等の窓口を開設
2. 地域住民を対象として栄養教室・健康教室などを開催
3. 地域住民との交流を深める夏祭りやバザーの実施
4. 地域で孤立しがちな高齢者に配食サービスを実施するほか
地域福祉活動推進団体にもサロン弁当を提供など

現在、特に力を入れている事業



「ふれあいランチ」



「サロン弁当」

地域のボランティアが果たす役割 (CSWとしての機能)

ボランティア(配食者)はふれあいランチを届けた際、高齢者の安否を確認すると共に健康相談や困りごと等の相談を受ける。

それらの情報を配食者が民生委員や公民館、博多老人ホームに連絡して、地域のネットワークをより強固なものにしてきた。

今、社会福祉法人には、地域における公益的な活動が求められています。

博多老人ホームでも様々な地域貢献事業に取り組んでいます。

今回はその中でも21年前から行われて配食サービス(地域貢献事業)についての発表を行いました。

地域の要請により平成6年6月から高齢者を対象とした配食サービス「ふれあいランチ」を開始しましたが、現在では地域で活発に行なわれているサロン活動へ食事を提供する、「サロン弁当」へと時代の変化に伴い、配食サービスも進化を遂げています。

この地域貢献事業を通して地域住民の方々との信頼をより深め協力体制を確かなものにしています。

私達は、地域のコミュニティソーシャルワーカーとしての役割を担っていることを、改めて再認識すると共に、「慈悲慈愛の精神」に即して今後も地域と協力しながら共に成長し続ける施設でありたいと願っています。

コミュニティソーシャルワーカー (CSW)とは

生活が困難な家庭や家族など、支援を必要とする人や地域への援助を通して、地域と人を結び付けたり、あるいは生活支援や公的支援制度の活用を調整するためのコミュニティソーシャルワークを実践するボランティアスタッフのこと。



天真会 調理部

最後になりましたが、今回の研究発表に至るまでに、ご協力いただきました地域・関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

今後も社会福祉法人本来の役割である、CSWの機能を十分に発揮し、地域の皆様のニーズにきめ細かく柔軟に対応できるよう努力してまいります。

